

次号予告

特集 季節変動のマネジメント

エアコンの季節変動	金井 徹 (東 芝)
ビールの需要予測と季節変動	能重 正規 (麒麟ビール)
経済分析と季節調整	木村 武 (日本銀行)
経済時系列の季節調整—経済統計利用者の立場から—	片岡 淳 (三菱総合研究所)

編集後記

●編集委員として新メンバーがスタートして1年余が経ちました。まだまだ毎月の特集記事の準備、企画に追われています。自転車操業とはこういうことを言うのかというのが実感として感じられる毎日です。それでも何とかここまでやってこられたのは、本当に会員皆様のご協力によるものと感謝いたしております。今後ともわれわれ編集委員一同、皆様に興味を持って読んでいただける機関誌を作るべく努力いたすつもりです。ぜひご協力のほど、よろしく願いいたします。

●最近では冬が寒くなくなった、雪が少なくなった、大雨と洪水、砂漠化、温暖化などの“異常気象”がしばしば話題になり、海外での外国人との会話でもこれらがエルニーニョ現象のせいであろうということが頻繁に語られています。エルニーニョという用語は南太平洋で用いられていた地域的な言葉から完全に国際的、

世界的な言葉になってきています。エルニーニョ (el niño) 現象とはもともと数年に一度、南太平洋ペルー沖海域の表面海水の温度が2、3度上昇する現象のことです。el niño はスペイン語で神の子イエスを意味しますが、この現象がクリスマスの頃に発生することからこのような名前が与えられたようです。ちなみに上記同海域において表面海水の温度が平年より2、3度低くなる現象はラニーニャ (la niña 女の子) と呼ばれるそうです。カリブ海やメキシコ湾で発生する台風であるハリケーンの命名も1979年以降男女の名前が交互に現れていますが、気象学の分野は“男女平等”が厳密に実行されているようです。

●本誌でもタイムリーかつ重要な話題としての地球温暖化問題を特集テーマとして取り上げようかと考えております。お楽しみに。(大山達雄)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東電ソフトウェア㈱)、栗田治(慶応義塾大学)、笹山晋一(東京ガス㈱)、猿渡康文(筑波大学)、椎名孝之(勸電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、外嶋成留(住友金属工業㈱)、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、原 裕淳(㈱東芝)、宮崎知明(富士通㈱)、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成10年7月号 第43巻 第7号 通巻451号

代表者 水野 幸男

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 大山達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円) 年間予約購読料11,040円(税込)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ